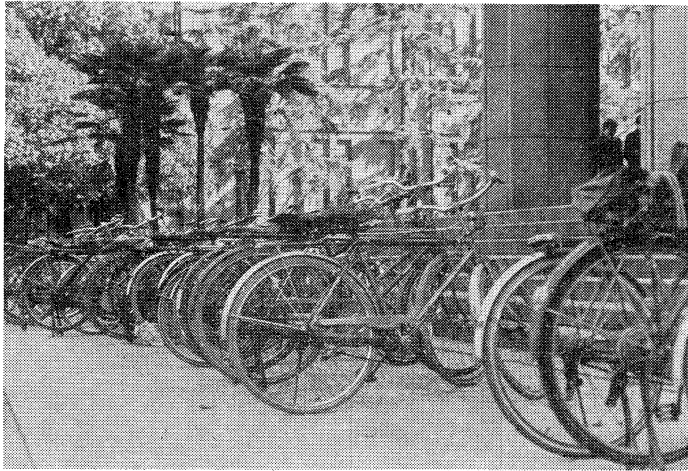


○ **Diccionario Enciclopedico U.T.E.H.A. Union Tipografica Editorial Hispano Americana, Mexico. 1950-1952. 10v. il.** (スペイン語で書かれたメキシコの百科辞典)

アルファベット順に約 500,000 項目が収録されている。範囲は地理、伝記、科学等の全般にわたっているが、特にメキシコとラテンアメリカに重点がおかれている。

Apendice (補遺) 2 冊が1964年に出版され巻末には物故者の命日表が附随している。



図書館とマイ・カー

図書館を
利用して

私自身図書館をそう多く利用したわけでもなく、またその少ない図書館の利用といっても、閲覧室に幾度か行ったのみである。それでも長い四年の間には、図書館についての色んな思い出も残っているし、そこには四季折々の姿があった。

教養時代にこの閲覧室に訪ずれて最初に感じたのは、まず部屋が大きかったことである。教養部にある二、三の図書室とはまるでちがっていた。そのころのフラフラと遊び廻っていた私の気分とはウラハラに、みんな真剣な顔をして、本を読んだり、書きものをしている。京大にもこういう場所があったのだと、気がついた(甘かった!)。それでそういう気分にも私も染まりたくなかったのか、時折は足を運ぶことになった。

(春の図書館) 真剣な表情で勉強している人もいるが、たいていは眠そうである。春には試験もないので、みんなノンビリムードである。時々ふっと顔を上げては、腕時計をのぞきこみ、また安心したかのように眠りはじめる。そして時間が来ると、最初に開いたページを閉じて、いそいで出てゆく。

(夏の図書館) 去年から冷房が入った。それで夏の図書館は人気絶頂である。私もそれにあやかっ、だいぶ利用させてもらった。何もすることがなかったら図書館へゆく。小説を読んだり、実験のレポートを書いていたりと、夏の暑い一日が自然と過ぎてゆく。

(秋の図書館) 試験が近づく。朝早くから室内が満席になる。昼ごろ行くともう全然席がない。しかしジッと待っていると、だれかがふと席を立つ。そこへ間髪をいれずに座りこめばもうシメたもの。

(冬の図書館) 冬の図書館もわりあい利用者は多い。外ですることが少ないからかもしれない。それが、だんだん暖かくなり、学年の終りころになると、あたりの雰囲気がかわってゆく。来たるべき春のせい、みんながソワソワとしだす。利用者はだんだん減るようである。

その他、気がついたことは、室内の雰囲気がいさゝか重々しすぎるのではないかということである。歴代の総長の肖像の他は何の飾り気もない。それがよいと言う人も多いだろうが、私なんかは、もう少し工夫をこらして、室の中の雰囲気を明るくしてはどうかと思う。

以上、4年間の学部学生生活を終えるにあたって、簡単な京大図書館の四季の素描を試みた次第である。
(工学部4回生 大山 伸)

参考室はあなたの“アシスタント”です

参 考 調 査

ある特定の事項や人物、研究に必要な文献資料の所在などについて知りたい場合には、参考図書室の資料を利用して下さい。

参考図書室には百科事典、主題専門事典、辞書、便覧、年表、人名録、地図、年鑑、統計書、全国書誌、解題書誌、総合目録、各種目録、記事索引等と洋あわせて3,380冊が集められており、自由に利用できます。この図書室におかれている資料は一般図書と性格も異なり、利用度も高いので室内での利用を原則とし、館外貸出、室外への持出はできません。ただし、閉室後も利用したい方は閉室15分前に掛員に申しでて手続きをして下さい。この場合には開架室時間内(平日午後8時、土曜 5時)に限り利用できます。また、参考室には専任の掛員がいますから、資料についての質問、相談、その他、わからないことはなんでも気軽に尋ね下さい。

質問は電話、文書によってもうけつけていますからご利用下さい。電話は(771)8111、内線2233です。文書の場合はなるべく往復葉書か返信料を添えて下さい。

他館に資料がある場合は当館より紹介しますから、掛員まで申しでて下さい。

相 互 貸 借

国立国会図書館所蔵の図書を借りたい方、および国立大学所蔵の図書の利用(国立大学間の図書相互貸借は原則として複写によることになっています。)を希望される方も当館よりあっせんしますから、参考掛で手続きして下さい。これに要する費用は利用者の負担です。国立国会図書館一往復送料(書留)、国立大学一複写料金(含送料)。

文 献 複 写

当館では次の種類の複写を行なっています。マイクロフィルム、ポジフィルム、印画紙焼付引伸、ゼロックス。

本学が所蔵している文献の複写を希望される方は一階文献複写室(電話学内2230)へ申し込んで下さい。(詳細は静脩第4巻第1号をごらん下さい)。

当館以外の国内、国外の大学、学術機関所蔵の文献の複写を希望される方は当館よりあっせんします。国内関係は文献複写室、国外関係は参考室でそれぞれ申し込んで下さい。

ト ピ ッ ク

「京都大学七十年史」閲覧室に並ぶ

○ 長期にわたり附属図書館に編集事務局をおいて刊行をいそいできた「京都大学七十年史」が、昨年未完成した。本館には、大閲覧室内の開架図書室カウンターと、閲覧事務室の参考掛カウンターにそれぞれ2冊ずつ置かれている。明治30年に京都帝国大学が誕生してから70年を迎え、そのモニュメントとして作られた本である。大方の御一覽をお待ちしている。